

# CentreCOM® 8224SL リリースノート

この度は、CentreCOM 8224SL をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ソフトウェアバージョン 4.0.4J


### 2 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン4.0.3Jから4.0.4Jへのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

2.1 メモリーへのアクセスタイミングを変更しました。


### 3 本バージョンでの制限事項

#### 3.1 MACアドレス指定によるPingテストについて

 **参照** 「AT-S50 オペレーションマニュアル」 56 ページ

存在しないホストに対して、MACアドレス指定でPingを実行すると、RARPパケット(ブロードキャストパケット)が約15秒間送信され続けます。Pingの宛先の指定は、IPアドレス(またはホスト名)で行うようにしてください。

#### 3.2 IGMPスヌーピングについて

 **参照** 「AT-S50 オペレーションマニュアル」 100 ページ

IGMPスヌーピング有効時に、本製品に存在しないVLAN IDを持つIGMPパケット(Query, Membership Report)を受信すると、そのグループがMACアドレステーブルに登録されます。この結果、該当のグループ宛にマルチキャストパケットを送信すると、グループ内にフラッディングされます。

## 4 マニュアルの訂正と補足

#### 4.1 Xmodemによるソフトウェアのダウンロードについて

 **参照** 「AT-S50 オペレーションマニュアル」 53, 186 ページ

Xmodemによるソフトウェアのダウンロードについて、付属のマニュアルに以下のメニューオプション、およびコマンドの説明が記載されていますが、これらは本製品に実装されていないので、訂正してお詫びいたします。

### メニューオプション

[Main Menu] -> [Administration] -> [XModem software update to this system]

### コマンド

LOAD

Xmodemを使用してソフトウェアをダウンロードする場合は、Bootメニューから行ってください。以下に手順を示します。

- 1 電源ケーブルを抜き差しする、リセットボタンを押す、またはRESTART REBOOT コマンドを実行して、システムを再起動します。
- 2 「Hit any key to run diagnostics or to reload system software. . .」と表示されている間に任意のキーを押します。
- 3 Bootメニュー(ATI Diagnostics)が表示されたら、「->」プロンプトに続けて $\square$ を入力し、[X: XMODEM download updated System Software] オプションを選択します。
- 4 リセットシーケンスが開始され、ダウンロードの準備完了のメッセージが表示されます。

The System is now ready for download. Please start your XMODEM transfer.  
CCCC

- 5 コンピューター(コンソール)から、ファイルを転送します。  
プロトコルタイプは「Xmodem」を選択して通信ソフトウェアのファイル送信を実行します(ファイル転送の手順については、使用している通信ソフトウェアのマニュアルなどをお読みください)。
- 6 ファイル転送が正常に終了すると、次のメッセージが表示されて、システムは自動的に再起動します。

XMODEM transfer has successfully completed. Now writing to Flash PROM.

- 7 「(press RETURN once or twice to enter User Interface)」と表示されたら、 $\square$  キーを押します。
- 8 「Login:」プロンプトが表示されます。

## 4.2 起動時の画面表示について




「CentreCOM 8224SL 取扱説明書」32, 45, 66 ページ  
「AT-S50 オペレーションマニュアル」15, 293 ページ


本体起動時(ログイン前)にローカルコンソール画面上に表示されるメッセージに一部誤りがありますので、訂正してお詫びいたします。

Ⓔ (press RETURN once or twice to enter Main Menu)

Ⓕ (press RETURN once or twice to enter User Interface)

#### 4.3 メニューでの設定保存時の画面表示について

 「CentreCOM 8224SL 取扱説明書」 64 ページ


 「AT-S50 オペレーションマニュアル」 22 ページ

メニューでの設定の保存([Save] を選択)時、およびログアウト([Quit] を選択)時に表示される確認のメッセージに誤りがありますので、訂正してお詫びいたします。

 Is configuration saved? (Yes or No):

 Do save configuration now? (Yes or No):

#### 4.4 SET MIRROR コマンドの書式について


 「AT-S50 オペレーションマニュアル」 251 ページ

SET MIRROR コマンドの書式に一部誤りがありますので、訂正してお詫びいたします。

 SET MIRROR [SOURCEPORT=mirror-port] [DESTINATIONPORT=port-number]

 SET MIRROR [SOURCEPORT=port-number] [DESTINATIONPORT=port-number]

#### 4.5 RMON 統計情報表示について

 「AT-S50 オペレーションマニュアル」 182 ページ

SHOW PORT COUNTER コマンドで表示される統計情報の説明にRMON 統計情報が記載されていません。訂正してお詫びいたします。各項目の内容は「AT-S50 オペレーションマニュアル」48 ページの表を参照してください。

```

Manager% show port=1 counter 


Port 1 Counter Information
-----
Receive:                               Transmit:
Frames                                0      Frames                                0
Filtered                              0      Broadcasts                            0
Broadcasts                            0      Multicasts                             0
Multicasts                             0      Collisions                             0
CRC Errors                             0      Late Collisions                        0
Undersized                             0
Fragments                              0
Long                                    0

RMON:
64 Byte                                0
65-127 Byte                             0
128-255 Byte                             0
256-511 Byte                             0
512-1023 Byte                             0
1024-1518 Byte                             0
-----

```

---

#### 4.6 CentreCOM 8224XL からの設定の移行について

 「CentreCOM 8224SL 取扱説明書」 53 ページ

 「AT-S50 オペレーションマニュアル」 294 ページ

本製品は、CentreCOM 8224XL (以下、8224XL) から TFTP によって Get したバイナリーの設定ファイル (config.img) を、本製品の FTP/TFTP サーバー機能によって Put し、8224XL の設定を引き継ぐことができます。本製品のみで搭載されている機能については、工場出荷時のデフォルト設定が使用されます。

—例外—

○ ログインパスワード


本製品はログイン名とログイン名に対応したパスワードによる認証を行うため、8224XL で設定したパスワードは引き継がれません。パスワードはデフォルトの「friend」が設定されます (ログイン名は「manager」)。

○ ポートの MDI/MDI-X 設定

ポートの MDI/MDI-X 設定は、Fixed MDI-X (MDI-X 固定) になります (本製品のデフォルト設定は Auto MDISet (MDI/MDI-X 自動切替))。

---

#### 4.7 電源ケーブルの長さについて

 「CentreCOM 8224SL 取扱説明書」 14 ページ


「1.1 梱包内容」に記載されている「電源ケーブル」の長さに誤りがありますので、訂正してお詫びいたします。

⑩ 電源ケーブル (2m) 1 本

⑪ 電源ケーブル (1.8m) 1 本

---

#### 4.8 マルチプル VLAN モードとポートセキュリティーの併用について

 「AT-S50 オペレーションマニュアル」 148 ページ

マルチプル VLAN モードとポートセキュリティーを併用した場合、1 つの Uplink VLAN Group (UV と CV のグループ) 内に同一の MAC アドレスを複数登録することはできません。